

オプトアウト文書	単施設研究用
臨床研究承認番号	2-019214-00

作成日：2020年3月10日（第1版）

手稲溪仁会病院では下記の臨床研究を実施しております。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

1. 研究課題名

脳卒中急性期データを用いた性別・年齢別の回復期在院日数の予測

2. 研究の目的

脳卒中のリハビリテーション後の転帰や在院日数についての報告は多いが、それに影響を与える因子は多岐にわたる。特に年齢や性別による特異的な因子があると予測されるため、それを明らかにすることで急性期からの介入の重点項目を把握して在院日数短縮に貢献すること。

3. 研究の方法

●対象となる患者さん

2008年8月～2016年6月の間に脳卒中に罹患し札幌市脳卒中地域連携パスを利用して回復期病院へ転院し、回復期病院より返還のあったデータを利用。

●研究に用いる試料・情報の種類

脳卒中地域連携パスデータより急性期退院時情報

- ①背景因子(同居家族、家族構成、住宅形態、年齢、性別)
- ②医学情報(診断名、障害側)
- ③評価(JCS、ROM、MMT、高次脳機能障害の有無、MMSE、尿・便失禁の有無、日常生活自立、Br. stage、FIM 下位項目)

●試料・情報の利用方法

- ①性別と年齢から4群にわけて各群で各項目について有意差・効果量を求める。
- ②各群ごとに各項目と回復期在院日数の相関を確認。

●研究期間

実施許可日～2020年3月31日

4. 個人情報の取り扱い

本研究で利用する試料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、学会や雑誌等で研究成果が発表されます。取り扱う試料・情報は、研究責任者が責任を持って厳密に管理します。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

手稲溪仁会病院 リハビリテーション部 木ノ下哲嗣
〒006-8555 札幌市手稲区前田1条12丁目1-40
TEL：011-681-8111（代表） FAX：011-681-81111

研究責任者：手稲溪仁会病院 リハビリテーション部 木ノ下哲嗣